

手配することができ、これまた厚く御礼申し上げます。車は無料とのことですが、後日何らかの形で御礼致したいと存じます。明春の更にも楽しい家族会に御期待下さい。

※ スピーチ “クナシリ(国後)島の思い出” 山形 清君
クナシリ島は根室の北東、昔の定期船で4時間半の距離にある、長さ約120kmの細長い島です。中心はトマリ村で、その北にエカンコタンがあり、戸数は僅かに7戸、そのうちの1軒が私の生家で、小学校5年まで住んでいました。更に北にはボンタラベツ、ゼンベコタン、山を越えるとコタンゲシがあり、温泉や鉱山がありました。反対側のケラムイ、その東のウエンナイの漁場には季節労働者が沢山来ていました。人口は少く、最も大きな村で約400人(冬は半分)、アイヌ人が約3割を占めていました。

資源は豊富で、海ではシヤク、マス、タラ、カニ、ホタテ、ホツキが、川ではヤマベ、ジャツコが面白い様にとれ、山にはコクア、ヤマリンキ、コケノミが沢山つていました。浜にはハマナスが咲き、そこにはウノドリ、アイサ、カモ、アオナ、白鳥等が何万羽となく集つて来ました。海でシヤクを手づかみでとつたり、川で魚をすくつて、ものの5分とたたぬうちにバケツが一杯になつたりしたのは楽しい思い出です。

冬になると島は冬眠状態になります。海岸から1里半位氷が張ります。1晩で家が見えなくなる程雪がつもることもあります。学校に行く途中で遭難する子供もありました。恐ろしかつた記憶として、氷山に乗つていて知らずに海峽の方に流されて助けられたことがあります。又、熊に襲われ、木に登つて助かつたこともあります。島では熊に襲われぬようラツパを吹いて歩き、山に泊る時は焚火をしたものでした。

最近クナシリ墓参に行つた人の話では、島は昔と殆んど変つていないようでした。現在日本人は12人残つているそうです。

ともかく、クナシリ島は食べ物には全然不自由せず、宝島と呼んでも良いでしょう。クナシリ、エトロフを失つたのは北海道にとつて莫大な損失でした。私は父をこの島で失つただけに、是非一度は訪れてみたいと思つています。

そして出来得れば日本領土に復帰してほしいと切望するものです。

※ 出席報告

| | | |
|-------------|---------|----------|
| 1. 本日 | 会員数 29名 | 出席 18名 |
| 2. 先週の確定出席率 | 83.33% | |
| | 会員数 30名 | 当日出席 23名 |
| | 他欠出席 2名 | 計 25名 |



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算才77号

1965~66-10-20

函館北ロータリークラブ

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

第69回例会

本日のプログラム ガバナー公式訪問

- ※ 司 会 遠 藤 会 長
- ※ 斉 唱 “奉仕の理想”
- ※ ビジター 小林栄一君(茶商 埼玉県狭山)
佐野 庸二君 他6名(函館)
出村喜作君 他4名(函館東)

※ 会長報告

東日本連合地区大会に戸栗幹事と共に出席しました。会場は東京オリンピック水泳場で、その大きさと、丹下氏の奇想天外なアイデアに驚きました。

前夜祭は8千余のロータリアンが集い、NHK交響楽団の生の演奏もあり盛会でした。2日目は皇太子殿下の御来場があり、参加者は1万5~6千といわれました。午後5時から地区別行事があり、350区は嵯峨ガバナー司会、釧路北のホストで帝国ホテルに600人が参加しました。主たる行事はガバナーノミニー(旭川・岡田正雄氏)の決定と、出席優秀クラブの表彰でした。

3日目には会長幹事朝食協議会があり、8項目につき協議されました。次に職業別協議会があり、私は橋本寛政聖路加病院長をリーダーとする医師、病院部門に出席しました。そこでは医師と患者の人間関係が大切であること、医師である前に先ず人間であるべし等傾聴すべき意見が出ました。午後の大浜英子氏の「家庭の裏と表」と題する講演は抽象的で、あまり理解できませんでした。ファイナールの歌舞伎は仮設舞台とはいえ、さすがに豪華絢爛たるものでした。なおベテングル氏の講演は感銘深いものでしたので一部を朗読します。

「紳士淑女諸君、今更いうまでもなく、混乱し、争いに引裂かれたこの世界が必要としているのは、愛と理解なのであります。ロータリーはこの二つを豊富に提供することができます。私達は、全人類が平和と調和のうちに生活でき、差別されることのない世界を創る夢を夢見る、視野のある人間とならうではありませんか。これは単なる夢にすぎないかもしれませんが、しかし、まず夢を夢見ようではありませんか。私達は生活のあらゆる面において、ロータリーを実践しようではありませんか。そして全人類が平和と調和のうちに暮せる日が1



第70回例会

本日のプログラム "自由討議"

- 司会 遠藤会長 斉唱 "奉仕の理想"
- ビジター 寺田稔君 細居俊司君(函館) 近江政太郎君(函館東)
- 会長挨拶

昨日から本日まで2日間、嵯峨ガバナーより種々御指導をいただきまして有難うございました。先ず嵯峨ガバナーを御紹介申し上げます。

幹事報告

1. 俣野会員が鹿児島県の鹿屋(カノヤ)R.C.に出席され、バナーを交換して参りました。
2. 札幌R.C.の著書「30年の歩み」の御寄贈がありました。

ニコニコ・ボックス

1. 昨夜のクラブ・アツセンブリー後の会食を欠席されたとの理由で、只今嵯峨ガバナーより多額の奉仕を頂戴致しました。有難うございました。
2. 私事(北村委員長)ですが、終戦以来毎年正月に函館市の福祉施設に餅米の寄贈を続けてきて、此の度全国社会福祉協議会から表彰(全国で20名、本道より1名)を受けましたので、ボックスに自発的投入致します。

ガバナーのお話 "私はロータリーによつて改心した道楽者"

1. 私の生い立ち
函館は私の誕生の土地でございます。母は旧い造り酒屋の娘です。母の兄がこの家を呑み潰してしまふ道楽者の伯父でありました。函館という所は非常に芸事の盛んな所で、母もまた芸事が好きでございました。私もそのような母の胎内で育つたためか、又道楽者の伯父の血がいくらか私の中にあつたのかもしれませんが。父は秋田県の生まれで、祖父は槍一筋の家柄でありましたが、維新後、流れ流れて千島まで参りました。父は三男でしたが、長男、次男共に家を出ておりましたので、大変苦勞をして祖母を助けていたのであります。17才の時、大正12年の3月、私は釧路の中学校の卒業式にも出席せず、3月3日の吹雪の中を、連絡船で函館から青森に向つておりました。父は自分の苦勞を思い、私に期待をかけ、法律を勉強させるため私を法政大

日も早く来るよう、めいめい何んでも出来ることを行おうではありませんか。

幹事報告

1. 大会の様子は何れ別の機会にお話します。感想としては、盛大なお祭にポイントとしたこと、猿之助の舞台の素晴らしさを見て、当クラブのチャーターナイトに猿之助出演を計画したのは心蔵の強いことだつたと思ひました。
2. 25日14時より明治生命館二階で、ガバナーをお迎えしてアツセンブリーを行います。又27日の例会を26日に繰上げますのでお間違えなく。

スライド映写 "セールス指導シリーズより、 高田会員 提供
セールス業は面倒です。セールスの四段階として、 1)お客の注意をひかせる 2)興味をよびおこす 3)買いたい気持ちにさせる 4)しめくり、がある。買いたい気持ちにさせるには、商品の必要性を説き、興味の動機を支持し、買った場合の満足を話す等、お客の理性に訴えと共に、熱心な好感の持てる態度で感情に訴えることも必要である、と教えられました。

出席報告

先週の確定出席率 75.86%
会員数29名 当日出席18名 メークアップ4名 計22名

新入会員御紹介(塚田副会長)

栗原時治君 Tokiji Kurihara

- △ 生年月日 明治35年11月25日
- △ 自宅 函館市谷地頭町31 ㊤1623
- △ 勤務先 函館市海岸町56 ㊤6231
及び地位 笹井海運作業株式会社 専務取締役
- △ 職業分類 (大分類) 海運業 (小分類) 港湾運送業
- △ 経歴 兵庫県立商業卒 戦前樺太、戦後青森にて海運業、昭和25年来函
- △ 御家族 夫人 キヨさん(明治37年2月25日生)
長男 和俊君
同夫人 テル子さん
お孫さん(のぞみさん・明美さん)

○ 11月3日は祭日につき休会、次回例会日は11月10日です。